

## 安全データシート (SDS)

作成日：平成 24 年 9 月 24 日

改訂日：2023 年 7 月 31 日

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品名：アロクリン エースネオ

整理番号：18861

版数：06

供給者の会社名称：イカリ消毒株式会社  
住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番11号  
担当部門：商品開発部  
担当部門住所：千葉県習志野市茜浜1-13-4  
電話番号：047-451-5160 FAX番号 047-451-0916  
緊急連絡先：商品開発部 電話番号 047-451-5160  
推奨用途及び使用上の制限：手指消毒剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性：

引火性液体

区分2

健康に対する有害性：

急性毒性（経口）

区分に該当しない

急性毒性（経皮）

区分に該当しない

皮膚腐食性／刺激性

区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性

区分2B

発がん性

区分1A

生殖毒性

区分1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分3（麻酔作用、気道刺激性）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分1（肝臓）

区分2（中枢神経系）

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）

注意書き：

## 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること／アースをとること。  
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 取り扱い後はよく洗うこと  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

- 【応急措置】** 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。  
 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。  
 火災の場合：消火するために粉末消火薬剤、泡消火薬剤、炭酸ガス消火剤、乾燥砂を使用すること。  
 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 【保管】** 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 施錠して保管すること。
- 【廃棄】** 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名：

成分名	CAS No.	含有量
エタノール	64-17-5	73.696 w% (79.090 v/v%)
グリセリン、リン酸、ユーカリ油、リン酸三ナトリウム、精製水		残量

官報公示整理番号（化審法・安衛法）：

全成分が化審法・安衛法に登録されているか、既存化学物質として扱われる。

### 4. 応急処置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。  
 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合： 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 中毒の危険より肺損傷の危険が高まるため、無理に吐かせない。
- 応急措置をする者の保護： 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項： 情報なし。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤：	乾燥化学粉末、耐アルコール泡、二酸化炭素 (CO2)、水噴霧、砂、土
使ってはならない消火剤：	情報なし
火災危険性：	情報なし
特有の消火方法：	周囲の火災に適した消火剤を使用する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 適当な距離から注意して消火すること。 風上から近づく。 水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。 可能であれば火から遠ざけ、不必要な危険を避ける。
消火を行う者の保護：	適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。 適切な呼吸用保護具を着用する。 火災の煙、または、分解生成物の蒸気を吸い込まない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	適切な保護具を着用して作業する。 ガス、フェーム、蒸気や噴霧を吸入しない。 十分な換気を行う。 風上から近づく。 こぼれた場合、床が滑りやすくなることもある。
環境に対する注意事項：	排水溝や河川に流さない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	不活性吸収剤(砂、おがくず、ユニバーサル結合材、シリカゲル等)で吸収する。 吸収した物質は、密封容器に回収する。 大規模の場合：大規模漏出は、砂や土で封じ込める。 大量に漏出した場合はポンプや吸引機を使って回収する。
二次災害の防止措置：	漏出物質により滑る危険がある。 発火源を全て除去すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	
技術的対策	暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。 蒸気が蓄積する箇所に適切な排気装置を設置する。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 防爆型の機器を使用する。
安全取扱注意事項	皮膚、眼との接触を避ける。 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。 製品取扱い後には必ず手を洗う。 屋外または換気の良い場所で作業する。 ガス、フェーム、蒸気や噴霧を吸入しない。 火気厳禁。 発火源をすべて断つ。 本製品を使用する場所で、飲食・喫煙は行わない。
保管：	
安全な保管条件	密閉容器に保管すること。 直射日光や高温を避けて保管すること。 施錠して保管すること。 火気厳禁。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
安全な容器包装材料	情報なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：	エタノール (64-17-5)	ACGIH STEL (ppm)	1000ppm
-------	-----------------	------------------	---------

	リン酸 (7664-38-2)	許容濃度(産衛学会)	1 mg/m <sup>3</sup>
		ACGIH TWA (mg/m <sup>3</sup> )	1 mg/m <sup>3</sup>
		ACGIH STEL (mg/m <sup>3</sup> )	3 mg/m <sup>3</sup>
設備対策:	<p>暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。</p> <p>引火性蒸気の蓄積を防ぐため、局所排気装置および一般的な室内換気装置を設置する。</p> <p>適切なアースを設置し静電気の蓄積を避ける。</p>		
呼吸用保護具:	適切なマスクを着用する。		
手の保護具:	適切な保護手袋		
眼の保護具:	化学用ゴーグルまたは安全眼鏡		
皮膚及び身体の保護具:	長袖保護衣 帯電防止服		

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	特有の臭気
融点・凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	約 80°C
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	20°C
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	3.5～4.5 (原液)
動粘性率	データなし
溶解度 (水溶性)	水／任意に溶解する
n-オクタール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	約 0.872 g/ml (20°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の下条件下では安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	熱
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	区分に該当しない	構成成分からの計算値
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない	構成成分からの計算値
急性毒性 (吸入: 気体)	情報なし	
急性毒性 (吸入: 蒸気)	情報なし	
急性毒性 (吸入: 粉じん・ミスト)	情報なし	
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない	構成成分からの計算値
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	眼刺激	構成成分からの計算値
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし	
生殖細胞変異原性	情報なし	
発がん性	発がんのおそれ	エタノール (NITE 分類)
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ	エタノール (NITE 分類)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	眠気又はめまいのおそれ	
	呼吸器への刺激のおそれ	

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	エタノール（NITE 分類） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）
誤えん有害性	エタノール（NITE 分類） 情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性（急性）	データなし
生態毒性（慢性）	データなし
残留性・分解性	
生化学的酸素要求量(BOD)	データなし（クローメーター法、0.1%水溶液）
化学的酸素要求量(COD)	データなし（JIS K-0102 準拠、0.1%水溶液）
残留性・分解性	情報なし
生分解性	データなし（OECD 302B 準拠）情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない。

## 13. 廃棄上の注意

内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。  
都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理場にて処分する。  
容器は内容物を完全に除去してから廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	1170
品名	エタノール溶液
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	該当せず
指針番号	127

## 15. 適用法令

医薬品医療機器等法（薬機法）	指定医薬部外品
化審法	
優先評価化学物質	該当せず
監視化学物質	該当せず
労働安全衛生法	
危険物	引火性の物
有機則	該当せず
特化則	該当せず
表示対象物	エタノール
通知対象物	エタノール（73.696%）
毒物及び劇物取締法	該当せず
化管法（P R T R法）	
第一種指定化学物質	2023年3月31日まで      該当せず 2023年4月1日以降      該当せず
特定第一種指定化学物質	該当せず
第二種指定化学物質	該当せず
消防法	第4類 アルコール類 危険等級II 水溶性（指定数量 400L）
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体
海洋汚染防止法	
ばら積み輸送	供給された状態の製品には不適用
個品輸送	該当せず

---

## 16. その他の情報

参考文献 製造委託先 SDS アロクリンエースネオ (610300171-01、610300171-03) 2023年2月14日

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策の実施をお願い致します。

本品の使用の際には、ラベル等の記載をよく読み、十分理解した上で、使用方法及び用途を厳守して使用してください。

### 【改訂履歴】

平成24年9月24日：新規製品MSDSを作成。整理番号18861 版数01

2016年（平成28年）12月26日：書式をSDSに変更。版数02

2017年6月1日：本社移転による住所変更、部署名変更。版数03

2019年4月8日：担当部門移転による住所変更。版数04

2023年5月11日：JIS Z 7253:2019に準じた改訂。版数05

2023年7月31日：3. 組成・成分情報の表示内容の修正。版数06